

募集広報活動の新たな取り組みについて[1] (令和2年～)

産業デザイン科 高松 徹、電子技術科 浦野 勉、情報技術科 大池 勇介

1 はじめに

当校の応募状況は年々減少の傾向を見せている。どうすれば技術系の職業を目指す学生が増加するのかという改善手法の検討、取り組みの推進が急務となっている。

そこで、新設した定員確保対策グループでは、性の応募率アップを狙い、女性が技術系職種でどうすれば活躍できるかという内容を検討する「技術系女子活躍推進プロジェクト」新たに情報誌を作成し、校の魅力について発信する「学校通信制作プロジェクト」を計画し実施する。

両プロジェクトは、ボランティア学生スタッフと職員が共同で運営・制作し、学校通信には、「技術系女子活躍推進プロジェクト」の内容をシリーズとして掲載するとともに、学生目線で感じた校のトピックスなども掲載し、関係各機関等へ送付する。また、校のホームページでも閲覧できるようにして、本校のアクティブな状況を伝え、募集PRの手段とする。また、この試みを検証し、今後の募集活動、広報活動の方向性を検討する。

2 研究経過

本年度、新型コロナウイルスによる影響による4月～5月の臨時休校措置が明けた6月に、上記プロジェクトの学生ボランティアスタッフを募集し、「技術系女子活躍推進プロジェクト」「学校通信制作プロジェクト」の二つのプロジェクトをスタートさせた。

技術系女子活躍推進プロジェクトには産業デザイン科の女子学生9名の応募があり、学校通信制作プロジェクトには産業デザイン科15名の他、情報技術科からも2名の応募があり、課外活動時間となることにも関わらず、見込み以上の17名の応募があった。

実施状況は、技術系女子活躍推進プロジェクトでは、6月下旬～10月下旬の火曜日の放課後に、90分8回。学校通信制作プロジェクトでは、7月上旬～10月下旬の水曜日の放課後に、90分×8回での活動となった。

各プロジェクトとも学生リーダーを選出し、学生が主体となって活動することに注力した。

3 研究成果

学生と職員とが一丸となって取り組む両プロジェクトは、本年度は想定を上回る成果を残し、今後の募集・広報活動につながる新たな試みとして、一石を投じることとなった。

3.1 技術系女子活躍推進プロジェクトの成果

技術系女子活躍推進プロジェクトでは、技術職を女子学生にPRする方法や、女性が技術職として活躍しやすい環境整備などについての話し合いが行われたほか、ホームページ上の活用を想定して、校のマスコットキャラクターの提案なども行われ、それらの結果をパンフレット形式の報告書にまとめ、校内外に活動内容をPRすることができた。



技術系女子活躍推進プロジェクト報告書



学校通信第1号 MAKE IT

3.2 学校通信制作プロジェクトの成果

学生自らが記事の内容を大きく5分野（基本情報、学生生活、施設紹介、作品紹介、就職情報）に分け、各チームに分かれて、取材や原稿作成を行った。タイトルも、「MAKE IT」と名付け、9月に第1号発行、11月に第2号を発行した。第1号では見開き4Pであったが、第2号では8Pに増え、イラストギャラリーなど、現役高校生を読者対象として、学生目線で楽しい学生生活を想起させる誌面作成となった。

3.3 両プロジェクトの広報成果

両プロジェクトでは、毎回振り返りと次回への作業確認ミーティングを実施するとともに、校Twitterに記事を上げ活動をPRしたほか、制作した報告書や学校通信を印刷し、県内の高校へ配布するなど今までにない広報手段として活用することに成功した。

また、学生への教育効果として、学年・学科を超えてチームで課題に挑戦することの経験や楽しさを理解することができ、卒業後に必要となるコミュニケーション能力の向上に資するプログラムになったことが大きな成果である。

4 今後の予定

今回、学生と職員が合同でプロジェクトを推進したが、各プロジェクトでは学生が中心となって活動し、大きな成長を遂げた。次年度も引き続きプロジェクトを開催し、学生教育・募集広報の両面において、模索しながら推進していくこととしたい。